

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

施設名	高松市香南楽湯		
指定管理者	株式会社 創裕	施設所管課等	観光交流課
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで(5年間)	公募・非公募の別	公募
所在地	高松市香南町横井997番地2	業務の概要	・施設の運営業務・維持管理 温泉(木の風呂・石の風呂)、売店、ゲームコーナー レストラン「楽湯旬彩」、軽食コーナー「楽湯食処」 ボディケアこころ ・各種イベントの実施 菖蒲湯・ゆず湯等のイベント風呂、回数券のセール 似顔絵展、敬老イベントなど各種催事期イベントなど
施設の概要	【施設】 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階建 【従業員】 正社員8名 パート17名 【開館時間】 10:00～23:00 【定休日】 毎月第3水曜日(祝日の場合は翌日) 【駐車場】 香南楽湯 67台 道の駅 34台		

	項目名	平成29年度	平成28年度	項目名	平成29年度	平成28年度
利用状況等	入浴	164,399 人	156,445 人	ボディケア	3,441 人	3,377 人
	レストラン	18,318 人	18,284 人			
	売店	21,935 人	22,124 人			
収支状況等	指定管理料	6,300 千円	5,800 千円	(収入実績)	168,553 千円	157,032 千円
				(支出実績)	165,148 千円	157,768 千円

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
1 基本事項	①法令上必要な知識等、安全対策、危機管理	安心安全な施設管理を目指し関係法令に基づき施設運営、維持管理を実施しました。毎月ミーティング会議も実施し従業員の指導も行いました。個人情報基本は基本取り扱うことはありません。	A
	②個人情報の保護、情報公開、環境への配慮		
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性	地元小中学校の職場体験受け入れ、地域行事への参加、地元スポーツ少年団、祭り等への協賛など地元への貢献を密に考えています。利益重視ではなく公平に受け入れた順番に対応しております。	A
	②平等な利用の確保		
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策	四国新聞、HP、館内ポスター、じゃらん等の媒体利用によるPR効果、また行基の湯休館に伴う集客・売上の増加となり、前年より数字は上向きとなりました。経年劣化に伴い、今後は不良箇所の改善を高松市に報告をし早期対応が必要と考えます。苦情処理においてはできる事はすぐ対応、調整が必要な事項はできるだけ早期解消を心掛けています。	B
	②広報・PR対策		
	③企画事業・自主事業		
	④市・関係団体・地域等との連携		
	⑤サービス向上の取組		
	⑥相談・苦情への対応		
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等	最小限の従業員で各部門の業務を兼務しつつシフト調整によりお客様に大きな迷惑をかけずに運営できました。従業員には当社の経営理念、経営基本方針、就業規則について遵守するように適切に運営管理を実施しています。	B
	②教育・研修		
	③就業規則等の遵守		
	④施設運営の健全性の確保		
	⑤損害保険等		
	⑥収支計画と執行管理		
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費	近隣温浴施設である行基の湯の休館に伴い、売上・集客において共に増加することとなりました。今期は営業再開すると聞いておりリニューアルオープンに伴い集客減少は否めないと思われ。こまめな節電を心掛け、前年にできるだけ近づけたいと思います。	B
	②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点		
	③経営の効率化		
	④合理的な会計制度		

総合評価コメント	総合評価
各種イベントやセールを企画・実施するなど、利用者数・収入増を図る取組を行っており、高松市塩江湯愛の郷センター浴場施設(通称:行基の湯)の休館の影響もあると思われるが、利用者数が昨年度より大きく上回ったことは高く評価できる。また、定期的な広報・PRを実施する等の努力が見られ、道の駅に併設された温浴施設ということから、市内外の利用者から支持を得ており、引き続き、その魅力をより広くアピールするとともに、香南楽湯ならではの新たな商品開発等、物販にも、より力を入れていただきたい。 全体として、民間の活力を公の施設に利用するという指定管理者制度の主たる目的は達成されているが、更なる経営の効率化とともに、市と指定管理者の役割分担について、今後とも整理が必要な施設である。	B